		基礎情報		実施計画			平 実績	成22年度	評価		喜 火亚/II			平成2	23年度計画							今後の事業	展開		
	事務事	F	対象	第5次実施計画			夫棋		決算内訳	(千円)	事後評価					予算内訳(千円)		1XI	要性			事業手法		事業の改善提案	
事業 も ラグ	事務事業名	事務事業の 目的・成果	象(顧客)	*の性質 実施計画 事業名 分	活動		ービス量の達	成状況		活動ごとの 決算額	事務事業の目的に対する成果の状況	22年度 の取組 に対す る分析	活動	活動量・サ事業の指標の名称活動指標の名称	日標値	当該事務事業全 体の予算額 (合計) 活動ごとの 予算額 1,441,036 1,441,03	業務計画			事業の方向性	①人件費減	③民間活用 ③民間活用	手法の 変更の 有無 (を)		予算の方向性
1 総	狭あい道路整備 事業	道路を拡幅し、より安全 な生活道路として整備す る。	道路利 用者	政 狭あい道路整 策 備事業					276,096		指標は達成できな かったが成果は今後 見込める。	В		事業件数 整備延長率	300# 18.0%	332,559	業務計画	未高		現状維持			有り		維持
1	狭あい道路整備 事業				拡幅用地の測量・登記・買収及び補助金申請	境界確定測量 面積/件数	3,000㎡ /300件	2,587㎡ /301件		73,998			拡幅用地の測量・登記委託	境界確定測量 面積/件数	2,000㎡ /300件	81.84	業務計画				不可要	済不無	なし		維持
1	狭あい道路整備 事業												拡幅用地の工作物等 移転補償費算定業務 委託	工作物の補償 件数	170件	6,00	業務計画				不 必要	済而無	なし		増やす
1	狭あい道路整備 事業				拡幅用地の路面整備	後退用地の路 面整備延長 (除く無償使 用)	3,200m	4,283m		56,462			拡幅用地の路面整備	後退用地の路 面整備延長	3,200m	73,34	業務計画				不 必 要	済可無	なし		維持
1	狭あい道路整備 事業										事故繰越 17,558,400円		拡幅用地の路面整備	後退用地の路 面整備面積	3,050m²	17,55	業務計画				不必要	済而無	なし		維持
1	狭あい道路整備 事業				拡幅用地の取得に係 る工作物の補償	工作物等の補 償件数	170件	136件		80,568			拡幅用地の取得に係 る工作物の補償	工作物等の補 償件数	170件	90,00	業務計画				必要	更不無	有り 24	工作物等移転補償費 算定業務についてさ らに委託化の検討を していく	減らす
1	狭あい道路整備 事業				拡幅用地の買収	用地買収の面 積	3,000m²	2,587m [†]		64,848			拡幅用地の買収	用地買収の面 積	2,000m²	63,63	業 3 3 3 3 3 1 画				不必要	その他不可無無	なし		維持
1	狭あい道路整備 事業				狭あい道路整備事業 に係る庶務事務及び 補助金申請	事務処理及び 申請	300件	329件		220			狭あい道路整備事業 に係る庶務事務及び 補助金申請	事務処理件数	300件	18	業務計画				可必要	済可無	有り 24	再任用職員の活用を 検討していく。	維持
2 60	道路の占用、掘 削等の許可に関 すること	道路の占用、掘削等の許可を適切に行う。	道路の 占用、 掘削等 申請者	定例定型							適切に許可の処理を 行っており成果が出 ている。	А		申請・許可件 数	2,000件			未高	高高	現状維 持			なし		維持
2	道路の占用、掘削等の許可に関すること				道路の占用、掘削	占用、掘削件 数	2,000件	1,992件					道路の占用、掘削申 請の事務処理	占用、掘削件 数	2,000件							その他不可無無	なし		維持
2	道路の占用、掘 削等の許可				道路工事施行承認	承認件数	210件						道路工事施行承認申 請の事務処理	承認件数	210件						不 必要	その他不可無無	なし		維持
2	道路の占用、掘 削等の許可				車輌運行協議	申請に係る審査及び協議	60件	特殊車両 172件 工事車両 2件 車両制限					車輌運行協議申請の 事務処理	申請に係る審査及び協議	60件							その他不可無	なし		維持
2	道路の占用、掘 削等の許可				道路側溝への汚水流入	申請に係る審査及び協議	20件	16件					道路側溝への汚水流 入の申請事務処理	申請に係る審査及び協議	20件							その他不可無無	なし		維持
2	道路の占用、掘 削等の許可				不法占用物除却依頼	不法占用物除 却依頼	20件	16件					不法占用物除却依頼 に係る事務処理	不法占用物除 却件数	20件						不 必要	その他不可無	なし		維持
3 66	道路の占用料等 の徴収に関する こと	道路の占用料等の徴収を	道路の 占用等 の申請 者	例							適切に許可の処理を 行っており成果が出 ている。	А		道路附属物占 用料	200件1,900件			未高	高高	現状維持			なし		維持
3	道路の占用料等 の徴収に関する こと				道路の占用料の徴収	徴収件数	200件	271件					道路の占用料の徴収 に係る事務処理	徴収件数	200件							その他不可無無	なし		維持
3	道路の占用料等の徴収				道路損傷復旧負担金 の徴収	徴収件数	1,900件	2,009件					道路損傷復旧負担金 の徴収に係る事務処 理	徴収件数	1,900件						不可要	その他不可無無	なし		維持

課かい名 道路管理課施策目標 身近な生活道路を安全で快適にする

施策目標		活道路を安全で快適に	3 -Q					T#60===	-m /m																		
	事務事	基礎情報 業		実施計画 第5次実施計画			実績	平成22年度	5半1曲		事後評価		_	平成2	3年度計画								今後の	事業展開			
総			対象の			活動			決算内訳	(千円)		00.77		活動		予算内訳	(千円)		必要性				事業手	法	事	業の改善提案	予
事業 No.	事務事業名	事務事業の 目的・成果	(顧客)	実施計画 事業名	活動	活動量・サ	ービス量の達	越成状況	当該事務事業全 体の決算額 (合計)	活動ごとの決算額	事務事業の目的に対 する成果の状況	22年度 の取組 に対す	活動	活動量・サ [、]		当該事務事業全 体の予算額 (合計)	活動ごとの 予算額	業務計画	2 3	4 継	事業の 方向性	①人性學	3 年	⑤ 手法の 変更の 有無	改善 時期 (年度)	改善の内容	算の方
グ			分分		70360	活動指標の名称	目標値	実績値		1,140,971	_	る分析	/(1±/)	事業の指標の名称活動指標の名称		1,441,036	1,441,036	道成	ガーズ	性性		世費減	活用働	の一角無	度)	BE(V)	性性
4 総	歩道段差改良工 事	歩道の段差や起伏を解消 し、歩行者や自転車等の 安全性の確保を図る。	定 道路利 例 用者 定 型	歩道段差改良 工事							指標は達成できな かったが成果は今後 見込める。	O		巻込部歩道段 差解消数	1 〇箇所	7,500		*	高高	高	現状維持			なし			維持
4	歩道段差改良工 事				段差等改良工事箇所	改良箇所数	1 4箇所	〇箇所					段差等改良工事箇所	改良箇所数	1 〇箇所		4,050					不可要	済可	無なし			維持
4	歩道段差改良工 事										明許繰越 3,449,160円		段差等改良工事箇所	改良箇所数	1 4箇所		3,450					不必要	済不可	無 なし			維持
5 総	市道7263号 線道路整備事業	小出川河川改修に伴い水 没する市道の付け替え整 備し、交通の利便性の確 保を図る。	定 道路利 例 用者 定 型	市道7263 号線道路整備 事業					8,909		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		公有財産購入	51m ²	2,602		氕	高高		終了			なし			予算なし
5	市道7263号 線道路整備事業				公有財産購入	公有財産購入	2筆 127.30 ㎡	2筆		6,632			公有財産購入	公有財産購入	1筆 51.08㎡		2,602					不可要	済不可	無なし			予算 なし
5	市道7263号 線道路整備事業				安全施設整備	安全施設整備工事等	1 箇所	1 箇所		2,277																	
6 総	市道5634号線(鶴嶺八幡宮参道)整備事業	天然記念物である松並木 を保存し、人にやさしい コミュニティ道路的な整 備を図る。	道路利 政用者 策	鶴嶺参道(市 道5634号 線)整備事業					56,391		指標は達成できな かったが成果は今後 見込める。	С		道路整備工事	L=160 m	80,280		業務計画	高高	高	現状維持			なし			維持
6	市道5634号線(鶴嶺八幡宮参道)整備事業				道路整備工事	道路整備工事	L=240m	L=159m		40,611																	
6	市道5634号線(鶴嶺八幡宮参道)整備事業				道路整備工事	道路整備工事	L=200m	L=Om		15,780	明許繰越 30,180,000円		道路整備工事	道路整備工事	L=170m		30,180	業務計画				不可要	済可	無なし			維持
6	市道5634号線(鶴嶺八幡宮参道)整備事業												道路整備工事	道路整備工事	L=160m		50,100	業務計画				不可要	済可	無 なし			維持
701 総	あんしん歩行工 リア整備事業	エリア内の交通安全施設 及び歩道等道路改良整備 を実施し交通事故の減少 を図る。	道路利 政用者 策	あんしん歩行 エリア整備事 業					37,842		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А															
701	あんしん歩行エリア整備事業				市道1215号線道路整備	道路整備延長	L=180m	L=180m		37,842																	
7 総	橋りょう耐震補 強整備事業	既存橋りょうの耐震補強 の整備促進を図り地震時 の安全性を確保する。	道路利 政用者 策	橋りょう耐震 補強等整備事 業					71,212		指標は達成できな かったが成果は今後 見込める。	С		橋りょう数	2橋	112,957		業務計画	高高	高	現状維持			なし			維持
7	橋りょう耐震補 強整備事業				耐震補強工事(梅田橋、千ノ川橋)	耐震補強工事 (梅田橋、千 ノ川橋)	耐震補強 工事	耐震補強 工事		49,822	事故繰越 17,556,950円		耐震補強工事(梅田橋、千ノ川橋)	耐震補強工事 (梅田橋、千 ノ川橋)	2橋		17,557	業務計画				不可要	済不可	無なし			維持
7	橋りょう耐震補 強整備事業												橋りょうの長寿命化 修繕計画策定委託	橋りょうの長 寿命化修繕計 画策定委託	計画策定		8,000	業務計画				不可要	済可	無なし			維持
7	橋りょう耐震補 強整備事業												耐震補強工事(新鶴 嶺橋、ふれあい橋)	耐震補強工事橋りょう数	2橋		87,400	業務計画				不必要	済可	無なし			維持
7	橋りょう耐震補 強整備事業				耐震補強設計委託 (梅田橋外9橋)	耐震補強設計委託(梅田橋外9橋)	設計委託	耐震補強 設計委託 の完了		21,390																	

			基礎情報		実施計画				成22年度	評価					平成2	3年度計画							今後の事業	展開		
		事務事		対	第5次実施計画		活動	実績		決算内訳	(千円)	事後評価			活動		予算内訳(壬円)	ואנו	要性			事業手法		事業の改善提案	
	事業 No.	新野事業名	事務事業の 目的・成果	対象(顧客)	業の性 性質 実施計画 事業名 分	活動		ービス量の達	成状況		活動ごとの決算額	事務事業の目的に対する成果の状況	22年度 の取組 に対す る分析	活動	活動量・サーキャッドを表現しています。 活動指標の名称	日標値		活動ごとの 予算額 業務 計画			事業の方向性	①人件費減		手法の 改善 変更の 時期 有無 度)		予算の方向性
	8 #	島井戸地下道冠 水対策事業	鳥井戸地下道の冠水被害 軽減のため、雨水調整 池・雨水排水施設の整備 を行う。	地下道 利用者	政 鳥井戸地下道 策 冠水対策事業					210,201		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	A		電気・機械・ 施設整備工事	完成	107,000	業務計画	完高		経了			なし		予算なし
	8	鳥井戸地下道冠 水対策事業				調整池建設工事	土木工事	完了	完了		176,700															
	8	鳥井戸地下道冠 水対策事業				建築工事	建築工事	完了	完了		10,001															
	8	鳥井戸地下道冠 水対策事業				電気・機械工事	電気・機械工 事	22年度 出来高完 了	22年度 出来高完 了		22,000			電気・機械工事	電気・機械工 事	完了		71,000 業務計画				不必要	済無	なし		予算なし
	8	鳥井戸地下道冠 水対策事業				修正設計委託	修正設計・施 工監理委託	完了	完了		1,500			鳥井戸雨水調整池施 工監理委託	施工監理委託	完了		4,000 業務計画				不可要	済無無	なし		予算なし
	8	鳥井戸地下道冠 水対策事業												家屋調査事後委託	家屋調査事後 委託	1 2棟		2,000 業務計画				不 必 要	済無	なし		予算なし
	8	鳥井戸地下道冠 水対策事業												場内整備工事	場内整備工事	完了		30,000 業務計画				不必要	済無	なし		予算なし
	9 8	10 三九四秋图秋少足	狭隘な歩道の拡幅整備を 行い、歩行者や自転車等 の安全確保を図る。	道路利 用者	政 矢畑萩園線步 策 道設置事業							指標は達成できなかったが成果は今後 見込める。	В		補償件数	2件	0		完		終了					予算なし
	9	矢畑萩園線歩道 設置事業				用地買収	用地買収面積	98.37m²	45.82m²																	
	9	矢畑萩園線歩道 設置事業				物件補償	補償件数	5件	4件			明許繰越 11,833,200円														
	9	矢畑萩園線歩道 設置事業				整備工事	整備工事	L=40m	L=70m																	
-	702 %	本 市道〇11〇号 線歩道設置事業	歩道を設置し、歩行者や 自転車等の安全確保を図 る。	道路利 用者	市道〇11〇 号号線等歩道 設置事業							活動指標を概ね達成し、成果があがった。	A													
-	702	市道〇11〇号線歩道設置事業				用地買収	用地買収面積	196.01 m [*]	207.14 m																	
-	702	市道〇11〇号 線歩道設置事業				歩道整備	歩道設置延長	L=138m	L=138m																	
-	703 #		歩道を設置し歩行者や自 転車等の安全確保を図 る。	道路利 用者	市道〇217 日線(旧遠藤 第ヶ崎線)歩 道整備事業							活動指標を概ね達成し、成果があがった。	A													
-	703	市道0217号 線(旧遠藤茅ヶ 崎線)歩道整備 事業				歩道整備工事	歩道整備工事	L=120m	L=122m	I																
-	703	市道0217号線(旧遠藤茅ヶ崎線)歩道整備事業				用地買収	用地買収面積	95.17m²	95.17m²		,															

道路管理課 課かい名 道路管理課 身近な生活道路を安全で快適にする 施策目標 実施計画 平成22年度評価 基礎情報

		事務事	幸碇1月牧 業			美施計画 第5次実施計画			実績	F 队 乙 乙 年 及			事後評価			平成2	3年度計画							今	後の事業	業展開			
	46				事			活動	7 707		決算内訳	(千円)				活動		予算内訳	(千円)		必要性			事	業手法		事美	業の改善提案	- 天
事業	総括フ	事務事業名	事務事業の目的・成果	対象(顧客)	業の性質区	実施計画		活動量・サ	ービス量の達	成状況	当該事務事業全 体の決算額	活動ごとの	事務事業の目的に対	22年度の取組		活動量・サー	-ビス量	当該事務事業全 体の予算額	活動ごとの業	務 ①	2 3	④ 事業	න ම	2 3 E	4 E	● 重法の	改善		算の
No.	括フラグ	3333762	日的・放果	答	区分	事業名	活動	活動指標の名称	目標値	実績値	(合計)	决异 領	9 の成果の状況	の取組に対する分析	活動	事業の指標の名称		(合計)	J/异顷 01	的違成	② ニーズ ズ	継 力厄続 性	(件費)	直営の	民協働	きる 手法の 変更の 有無	改善 時期 (年 度)	改善の内容	方 向 性
			+ ***	1)				70.2030 (80.5) (2.13		2000	1,140,971	1,140,971				活動指標の名称	目標値	1,441,036	1,441,036	100			1/94	н	1973				
10	総業	道路舗装修繕事 €	市道舗装等損傷の激 箇所の修繕及び市道 のための維持修繕等 経費で、交通の安全 確保を図る。	スト ス持 遺係 単の 用者	定例定型						137,720		指標は達成できなかったが成果は今後 見込める。	С		舗装面積	19,140 m [*]	313,323	AN PAR IIII III	美	高高	高規が持	維			有り			維持
10	道業	自路舗装修繕事 美					道路修繕等の整備	整備面積	31,757 m	12,284 m		137,720			道路修繕等の整備	整備面積	19,140 m		201,850	务 十			不可	必済	不可無	無 なし			維持
10) 道 業	直路舗装修繕事 美											明許繰越 98,681,390円		道路修繕等の整備	整備面積	15,444 m		98,682	务 十			不可	必要済	不可無	無 なし			維持
10	道業	直路舗装修繕事 美													緊急雇用創出事業	雇用人数	8人		9,991	务 十			不可	必済	不可無	無 なし			減らす
10) 道 業	直路舗装修繕事 美													舗装修繕工事図面作 成	舗装修繕工事 図面作成業務 数	1式		2,000	\$			不可	必要可	不可無	無 有り	24 に 題	計書作成及び現場 理等を神奈川県都 整備技術センター 委託できるよう課 等を整理し民間活 の拡大を図れるよ	増やす
10) 道 業	直路舗装修繕事 養					(事業No.6O1から統 合)								道水路敷台帳管理システム保守委託	保守台数	4台		800 mu	务 十			不可	必要済	不可無	無 なし		<u> 刀拡入を図れるよ</u>	維持
11	総道	宣路整備事業	市道の路面・歩道等は 備を行い、交通の安全 の確保を図る。	D整 道路利 全性 用者	定例定型						49,088		指標は達成できな かったが成果は今後 見込める。	С		道路整備面積	3,850m²	94,712		未	200 200	高現状	維			なし			維持
11	追	宣路整備事業					道路補修工事及び整 備工事	整備面積	1,123m²	1,704m²		22,466	6										不可	必要済	不可無	無 なし			維持
11	道	鱼路整備事業					道路補修工事及び整 備工事	整備面積	4, 697㎡	Omi		18,888	3		道路補修工事及び整 備工事	整備面積	3,850m²		47,300				不可	必 済	不可無	無 なし			維持
11	道	鱼路整備事業											明許繰越 37,412,000円		道路補修工事及び整 備工事	整備面積	3,872m²		37,412				不可	必 済	不可無	無 なし			維持
11	道	鱼路整備事業					道路整備等業務委託	業務委託件数	3件	3件		7,734	ı		道路整備等業務委託	業務委託件数	1件		10,000				不可	必 済	不可無	無 なし			維持
12	2 総 但	』 溝浚渫事業	市内各所の側溝の浚流行う。	業を 道路利 用者	定例定型						9,832		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		浚渫延長	7,097m	11,853		未	900	高規が	維			なし			維持
12	2 俱	』 溝浚渫事業					側溝の浚渫作業	浚渫延長	5,308m	2,095m 他		9,832	2		側溝の浚渫委託	浚渫延長	7,097m		11,853				不可	必要済	不可無	無 なし			維持
13	総 ^ た	まヶ崎駅エレ ・一ター、エス コレーター維持 ぎ理	施設の円滑な運営と3 の安全に寄与する。	交通 施設利 用者	定例定型						9,491		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		点検の実施回 数	日常点検 (毎日) 定期点検 (月2 回)	9,568		未	900	高 現状	維			なし			維持
13	3 7	まヶ崎駅エレ ベーター、エス ロレーター維持 管理					点検の実施	実施頻度	日常点検(毎日)定期点検(月2回)	(毎日)		9,491	945.000 +8.546,475		茅ヶ崎駅Iレバーター・I スカレーターの点検の実施		日常点検(毎日)定期点検(月2回)		9,568				不可	必養	不可無	無 なし			維持

課かい名 道路管理課施策目標 身近な生活道路を安全で快適にする

	東日保	į	は で			実施計画				成22年度	评価		***************************************			平成2	3年度計画							今後の事業	展開		
		事務事	美	対	事	第5次実施計画		 活動	実績		決算内訳	(壬円)	事後評価						壬円)	ועו	要性			事業手法		事業の改善提案	
事 業 No	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果	対象(顧客)	素の性質区分	実施計画 事業名	活動		ービス量の達 目標値	成状況		活動ごとの 決算額	事務事業の目的に対する成果の状況	22年度 の取組 に対す る分析	活動	活動量・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク	1 目標値		舌動ごとの 予算額 計画			事業の方向性	① 人件費減	③民間活用	手法の 変更の 有無 (年度)		予算の方向性
14	4 ‰		駅周辺等の清掃・安全・維持管理		定例定型						62,717		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		清掃・巡回、 点検の実施回 数	清掃:毎日、巡時点検:毎日	65,477		未高		現状維 持			なし		維持
14	1	駅周辺及び道路 施設等の維持管 理					広場の清掃・安全管 理委託、エレベー ター・エスカレー ター維持管理	清掃回数・巡回回数、点検の実施	回:随時 点検:毎	清掃:毎 :一個 :一個 : : : : : : : : : : : : : : : :		50,585	60,076,065 -9,491,475		駅南口・北口広場等 の清掃・安全管理委 託、エレバーター等の維 持管理委託	清掃・巡回、 点検の実施回 数	清掃:毎日、巡回:検:毎点検:日		52,126				不可要	済不可無	なし		維持
14	4	駅周辺及び道路 施設等の維持管 理					施設維持・補修・保全及び負担金等	市民要望等への対応	随時	随時		12,132	72,208,532 -50,584,590 -9,491,475		施設維持・補修・保 全及び負担金等	市民要望等への対応	随時		13,351				不可要	済無無	なし		維持
1!	5 総	道路安全施設設置事業	歩行者や車両の安全を確保するため、道路照明 灯・道路反射鏡・路面標示などの整備を図る。	道路利 用者	定例定型						69,792		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		安全施設設置 箇所数	15灯 85面	72,926		未高		現状維持			なし		維持
15	5	道路安全施設設 置事業					道路安全施設設置	安全施設設置	200箇所	156箇所		69,792			公衆街路灯外光熱水 費等	基数	1,032基		35,002				不可要	法令不可無無	なし		維持
15	5	道路安全施設設 置事業													照明灯点検委託	本数	200本		1,189				不可要	済無	なし		維持
15	5	道路安全施設設 置事業													照明灯設置 道路反射鏡設置	灯数 面数	15灯85面		36,735				不必要	済無	なし		維持
16	6 総	市道等舗装事業	市・私道未舗装道路を舗装し、歩行者の通行の安全と住環境の改善を図る。	道路利用者	定例定型						5,650		成果が出ていない が、今後成果が見込 める。	С		舗装面積	1,380m²	23,047		未高		現状維持			なし		維持
16	5	市道等舗装事業					舗装及び雨水桝設置	整備面積	933m²	Omi		5,650			舗装及び雨水桝設置	舗装面積	1,380m²		14,000				不可要	済無	なし		維持
16	5	市道等舗装事業											事故繰越 9,046,850円		舗装及び雨水桝設置	舗装面積	1,317m²		9,047				不可要	済無	なし		維持
1	7 総	市道改良事業	交差点の事故防止と歩行者の安全確保を図るため 角切を整備する。	道路利用者	定例定型					補正	2,834		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		測量委託箇所	2箇所	500		未高		現状維持			なし		維持
1	7	市道改良事業					交差点部角切その他 道路改良	測量委託箇所	2箇所	測量、用 地買収 3筆 11.77㎡		2,834			交差点部角切その他 道路改良委託	測量委託箇所	2箇所		500				不可要	済無	なし		維持
18	B 総	土木施設災害復旧	災害を受けた道路及び橋 梁の復旧工事を行う。	道路利用者	定例定型						O		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		被災箇所への 迅速な初動対 応時間	3時間以内	3,000		未高		現状維持			なし		維持
18	3	土木施設災害復旧					災害を受けた道路及 び橋梁の復旧工事	被災箇所への 迅速な初動対 応期限	3時間以内	3時間以内		0			災害を受けた道路及 び橋梁の復旧工事	被災箇所への 迅速な初動対 応時間	3時間以内		3,000				不可要	済無	なし		維持
19	9 66	道路の管理	市道保持のため維持修繕を行う。	道路利用者	定例定型						13,054		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		舗装路面補修 箇所数	1,400箇所	19,375		未高		現状維持			なし		維持
19	€	道路の管理						市民要望等への対応	市道の維 持修繕	市道の維 持修繕		13,054			市道の維持修繕に必 要な機械借り上げ及 び路面清掃	舗装路面補修 箇所数	1,400箇 所		19,375				不必要	済無	なし		維持

		第77 事務事業名 事務事業の 177 目的・成果				施計画			実績	成22年度	評価		事後評価			平成2	3年度計画							今後の事業	展開		
			*	対象	事業	人 关 旭 山 画		活動	入級		決算内訳	(千円)	尹戍矸Ш			活動		予算内訳	(千円)	业	要性			事業手法		事業の改善提案	_
	事業も	事務事業名		家 (顧客)		施計画 事業名	活動	活動量・サ活動指標の名称	ービス量の達	成状況 実績値	当該事務事業全 体の決算額 (合計) 1,140,971	決算額	事務事業の目的に対 する成果の状況	22年度 の取組 に対す る分析	活動	活動量・サーキャックを表現である。 活動指標の名称	目標値	当該事務事業全 体の予算額 (合計) 1,441,036	活動ごとの 予算額 1,441,036	①目的達成	③ 成果	④ 事業の 経 方向性 株	① 人件費減	③民間活用	手法の 変更の 有無 度)	改善の内容	予算の方向性
2	20 総	The same of the sa	放置自動車の撤去を行う。	道路利用者	定例定型						3		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		放置自動車の 撤去台数	10台	30		未高		高 現状維持			なし		維持
2	20	放置自動車の撤 去					放置自動車の撤去	放置自動車の 撤去	撤去7台	撤去1台		3	3		放置自動車の撤去委 託	放置自動車の 撤去台数	10台		30				不必要	済無	なし		維持
2	21 総	道路舗装損傷復 旧事業	事故の原因となる舗装の 穴あき棟の損傷箇所を早 急に復旧する。	道路利用者	定例定型						22,619		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		復旧面積	2,000m²	23,000		未高		高 現状維持			なし		維持
2	21	道路舗装損傷復 旧事業					道路舗装損傷復旧	復旧面積	2,000m²	2,095m²		22,619	9		道路舗装損傷復旧委 託	復旧面積	2,000m²		23,000				不必要	済無	なし		維持
2	22 #	道路小規模修繕事業	市道の雨水桝設置、舗装 修繕、ガードレール等小 規模な損傷復旧を行う。	道路利用者	定例定型						15,360		活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		修繕箇所数	37箇所	15,000		未高		高 現状維 持			なし		維持
2	22	道路小規模修繕 事業					小規模損傷の復旧	市民要望等への対応	40件	40件		15,360)		小規模損傷の復旧委 託	市民要望等へ の対応	37件		15,000				不必要	済不可無	なし		維持
2	23 #	受託土木工事の 設計、施工及び 監督	受託土木工事の設計、施工及び監督を行う。	依頼関係課	定例定型								活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		受託工事の件 数	2件			未高		高 現状維 持			なし		維持
2	23	受託土木工事の 設計、施工及び 監督					受託土木工事の設 計、施工及び監督	受託土木工事 の件数	3件	2件					受託工事および委託 業務の設計、施工お よび監督	受託工事の件 数	2件						不必要	その他不可無無	なし		維持
2	24 #	幹線道路維持保全計画	一定規模以上の道路路線 における維持保全業務計 画の策定を行う	道路利用者	政策								活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		計画の策定	基礎データの収集、 基本計画 の整理		業務計画	未高	高高	高 現状維 持			なし		維持
2	24	幹線道路維持保 全計画					幹線道路維持保全計 画案策定に係る資料 収集	幅員6m以上 の道路の現地 調査	現地調査の完了	現地調査 の完了					幹線道路維持保全計 画案策定に係る資料 収集	幅員6m以上 の道路の現地 調査	道路補修 履歴の整 理		業務計画				不必要	その他不可無無	なし		維持
2	£5 #	市道2662号線(旧2656号線)道路整備事業	市道2662号線(旧2 656号線)道路整備事 業	道路利用者	政策								成果が出ていない が、今後成果が見込 める。	С		道路整備工事	1件	3,000		完 高	高高	高終了			なし		予算なし
2	25	市道2662号線(旧2656号線)道路整備事業					道路整備工事	道路整備工事	1件	〇件			明許繰越 3,000,000円(道 路整備事業に再掲)		道路整備工事	道路整備工事	1件		3,000				不必要	済無	なし		予算なし
2	26 	・ 茅ヶ崎駅北口周 辺道路整備事業	道路を整備し、都市機能 の充実を図り安全で円滑 な交通を確保する。	道路利用者	政 茅ヶ策 整備	崎駅周辺 事業					69,871		成果が出ていない が、今後成果が見込 める。	С		家屋事後調査 補償	18箇所 3箇所	78,039	業務計画	未高		高 現状維 持			なし		維持
2	26	茅ヶ崎駅北口周 辺道路整備事業						道路整備工事 完成延長・幅 員		Om		22,799	(工事請負費 22,620,000+需) 用費179,781) 明許繰越 22,800,000円		市道2244号線道路 整備工事	道路整備工事 完成延長・幅 員	L=227 m W=12m		22,800 業務計画				不必要	済無	なし		維持
2	26	茅ヶ崎駅北口周 辺道路整備事業					北口駅前広場整備工 事	道路整備工事 完成延長・幅 員	L=100 m W=6m	Om		44,888	明許繰越 46,139,000円		北口駅前広場整備工 事	道路整備工事 完成延長・幅 員	L=100 m W=7.2~ 12.8m		# 46,139 計 画				不必要	済無	なし		維持
2	26	茅ヶ崎駅北口周 辺道路整備事業					設計積算業務委託 · 監理業務委託	業務委託	1件	1件		2,184	明許繰越 3,000,000円		設計積算業務委託 · 監理業務委託	業務委託	1件		3,000 業 務 計 画				不必要	済無	なし		維持
2	26	茅ヶ崎駅北口周 辺道路整備事業													家屋事後調査委託	業務委託	18棟		美 5,900 計 画				不必要	済無	なし		予算なし

	基礎情報 事務事業 対象 第 括 業 フフトル。 事務事業名 事務事業の目的・成果					計画		実績	☑成22年度	評価		事後評価			平成2	3年度計画							今後の事業	展開		
			*	対	事業	e.mat w	活動	天禊		決算内訳	(千円)	争技計画			活動		予算内訳	(千円)	业	変性			事業手法	:	事業の改善提案	
事業	総括として	事務事業名	事務事業の 目的・成果	(顧客)		計画	活動量・サ	ービス量の違	成状況		活動ごとの決算額	事務事業の目的に対 する成果の状況	22年度 の取組 に対す		活動量・サ	ービス量	当該事務事業全 体の予算額	活動ごとの 業績 計画	1 2	3	事業の	① 必②	3 4 5 元	手法の 改善		算の方
N	D. ラ グ		日山・成末	E	分	活動	活動指標の名称	目標値	実績値	(合計)		9 300,000,00	る分析	活動	事業の指標の名称活動指標の名称		(合計)	7年級 11	的達成	人 果	事業の 方向性 焼 生	件費減	民間活用のその他	手法の 変更の 有無 (年度)	改善の内容	方 向 性
2	6	茅ヶ崎駅北口周 辺道路整備事業								1,140,371	1,140,571			物件補償	物件補償	3棟	1,441,000	200 業 務 計 画					済而無	なし		維持
2	7 総	線(梅田通り)	交通量の増加等に伴い歩 行者の安全確保のため、 歩道整備を図る。	道路利用者	政策					452		指標は達成できな かったが成果は今後 見込める。	В		用地交渉	2件		業務計画			高 現状維 持			なし		増かす
2	7	市道〇21〇号 線(梅田通り) 整備事業				矢畑地内歩道設置派 量業務	〕 測量業務委託	L=270m	L=50.6 m		452	2		用地交渉	用地交渉	2件		業 務 計 画				不必要	済而無	なし		増やす
2	8 総	▮線(香川駅前通	香川駅周辺地区まちづく り整備計画に合わせ舗装 修繕を実施する。	道路利 用者	政 策					11,837		成果が出ていない が、今後成果が見込 める。	С		道路整備工事	L=200m	23,288		未高		休・廃止			なし		予算なし
2	8	市道〇111号線(香川駅前通 り)整備事業				道路整備工事	道路整備工事	L=200m	L=Om		11,837	明許繰越 23,288,000円		道路整備工事	道路整備工事	L=200m		23,288				不必要	済無無	なし		予算なし
2	9 総	ア連0107号 線(桜道)整備 事業	交通パリアフリー法の施行を 受けて全ての人々が安全 で安心して利用できる道 路空間のユニパーサルデザイン 化を目指す。	道路利 用者	政 策							活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А		道路整備工事	L=207m	42,000	業務計画			高 現状維 持			なし		維持
2	9	市道〇1〇7号 線(桜道)整備 事業				道路詳細設計業務	道路詳細設計 業務委託・測 量業務委託	詳細設計 L=620m 測量 L=640m	詳細設計 L=620m 測量 L=640m									業務計画				不必要	済而無	なし		予算なし
2	9	市道〇1〇7号 線(桜道)整備 事業												道路整備工事	道路整備工事	L=207m		42,000 業務計画				不必要	済可無	なし		維持
60	01 総	■ - 東	道水路、道水路敷占用及 び道水路敷払い下げ(交 換)情報を管理するた め、道水路敷台帳管理シ ステムを導入する。	市民・ 事業者 等	政 策							活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А													
60	01	道水路敷台帳管 理システム整備 事業				道水路敷台帳管理システムの構築	, システム構築 のための打合 せ会議開催	年12回	年12回					(事業№10へ統 合)												
88	88 #	災害応急対策活 動	本市域に、地震動・津波 伴う諸現象による同時多 発的災害が発生した場合 に、被害を軽減し、応急 対策活動を課として迅速 的確に対処する。	全市民等	定 例 定 型							活動指標を概ね達成し、成果があがった。	А						未高		高 現状維 持					
88	38	災害応急対策活 動				課の災害応急対策活動マニュアルの検証及び見直し等(毎年)	マニュアルの 検証及び見直	4月	4月					課の災害応急対策活 動マニュアルの検証 及び見直し等(毎 年)	マニュアルの 検証及び見直 し	4月										
88	38	災害応急対策活 動				災害応急対策の特合 の受理(災害等発生 時)	i 短員の配備	24名	24名					災害応急対策の特命 の受理(災害等発生 時)	班員の配備	24名										
88	38	災害応急対策活 動				風水害等災害事前配備及び対応	3 班員の配備	随時	190					風水害等災害事前配 備及び対応	班員の配備	随時										
88	38	災害応急対策活 動				災害時相互応援協成 に基づく応援要請 (災害等発生時)	記 協定先への応 援要請	随時	00					災害時相互応援協定 に基づく応援要請 (災害等発生時)	協定締結施 設・事業所へ の応援要請	随時										
88	88 総	庁内共通事務			定例定型																					